

日本国憲法

責任者・コーディネーター	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師		
担当講座・学科(分野)	人間科学科法学分野		
対象学年	2	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

・学習方針（講義概要等）

日本国憲法の全体像は、基本的人権と統治機構の2つに大別される。本科目では、日本国憲法の基礎的知識、とりわけ基本的人権の内容と意義、統治機構の基本原則と司法権・違憲審査制の理解を目的とする。基本概念・判例などの基礎的知識の獲得を大前提に、それらの知識を活用して、社会における多様な問題を、日常生活との関わりから捉え、憲法に関わる問題を独力で解き、自らの言葉で発言できる力を身に付ける。

・教育成果（アウトカム）

本講義では、日本国憲法の基本項目である、基本的人権の保障、国民主権、平和主義に関する基礎知識を修得することで、「看護対象者の尊厳と権利を擁護する能力」、「看護の内容について説明し同意を得る能力」を身につけられる。また、日本国憲法に関連する現行法に関する基礎知識を修得することで、「法的なものの見方（リーガルマインド）」と「法を知り使いこなす力（リーガルリテラシー）」を身につけられる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1,2

・到達目標（SBO）

リーガルマインド

- 1.基本的人権を理解することで、看護対象者の尊厳と権利を擁護することについて説明できる。
- 2.統治機構を理解することで、日本国憲法とわが国の医療制度の関わりについて説明できる。
- 3.日本国憲法と現行法の関わりから、法の全体像を把握し、定義および具体例を説明できる。
- 4.法の基礎にある原理を理解し、広い視野から法を分析的に見ることができる。
- 5.法の体系と社会の関係を考察し、基本的な法的思考を身につけ、活用することができる。

リーガルリテラシー

- 1.憲法を中心とした公法について説明できる。
- 2.社会で遵守すべきことについて説明できる。
- 3.社会のなかの法の役割について説明できる。

・授業日程

(矢) 東 2-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/18	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	憲法の基礎 1 (憲法とは) ・ 憲法の本質について説明できる
9/25	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	憲法の基礎 2 (日本国憲法) ・ 日本国憲法の成立とその基本原理について説明できる ・ 平和主義について説明できる
10/2	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	基本的人権 1 (人権総論) ・ 人権の意味と特徴について説明できる
10/2	火	3	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	基本的人権 2 (表現の自由) ・ 思想・良心の自由について説明できる ・ 表現の自由について説明できる
10/9	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	基本的人権 3 (信教の自由) ・ 信教の自由について説明できる ・ 政教分離について説明できる
10/9	火	3	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	基本的人権 4 (人身の自由) ・ 適正手続きについて説明できる
10/16	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	基本的人権 5 (経済的自由権) ・ 職業選択の自由について説明できる ・ 財産権の保障について説明できる
10/23	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	基本的人権 6 (生存権) ・ 生存権について説明できる
10/30	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	基本的人権 7 (包括的基本権) ・ 新しい人権について説明できる

11/6	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	統治1（統治総論・参政権） ・ 国民主権について説明できる ・ 参政権について説明できる
11/13	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	統治2（立法権） ・ 国会の役割について説明できる
11/20	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	統治3（行政権） ・ 議院内閣制について説明できる
11/27	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	統治4（司法権） ・ 司法権の独立について説明できる ・ 裁判制度について説明できる ・ 裁判員制度について説明できる
12/4	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	統治5（地方自治） ・ 地方自治について説明できる
12/11	火	2	人間科学科 法学分野	廣瀬 清英 講師	統治6（憲法改正） ・ 憲法改正の仕組みについて説明できる

・ 教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	法学六法 18	池田真朗 他 編	信山社	2017
参	伊藤真の日本一やさしい「憲法」の授業	伊藤真	KADOKAWA	2017
推	プレステップ憲法	駒村圭吾 編	弘文堂	2014

・ 成績評価方法

評価は毎回の課題と WebClass 上の小テストによって行う。

・特記事項・その他

【事前学修内容及び事前学修時間】

WebClass による事前学修及び事後学修をそれぞれ 30 分程度行う必要がある。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

提出された課題は、評価をつけて返却する。

WebClass 上の小テストは、自動で採点が行われる。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型パソコン (APPLE MC969J/A)	1	講義用スライド投影
講義	プロジェクター (VPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ (P-100)	1	講義用資料投影